

## 2024年度 新人看護職員の12か月間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	配置部署の特殊性が理解できる 社会人・専門職業人としての基本的マナーを理解し職場の環境に慣れる 日勤の流れが理解できる PNSペアと情報共有し必要な報・連・相ができる 日常の看護技術に必要な基礎看護技術を習得し、根拠を考え指導を受けながら実践できる 電子カルテからケアに必要な情報収集や入力ができる		グループメンバーの一人として行動できる 関連部門・多職種とのコミュニケーションがとれる 患者家族の思いを尊重して行動できる 夜勤・遅出業務が理解でき、助言を受けながら実践できる 緊急時、夜勤の報告方法を説明する 1日の業務の優先順位を考えて行動できる 患者の変化(症状・検査データ・反応)をよみとることができる 7月以降は助言を受けながら夜勤・遅出 が独りでできる			担当患者の看護過程が展開できる 根拠をもってケアを行い、アセスメント能力を高め看護が実践できる 夜勤・遅出メンバーとしての責任と役割を果たすことができる 支援受けながらグループメンバーの役割が遂行できる 経験不足の看護技術に自ら積極的に取り組むことができる 受け持ち患者の看護計画立案・修正ができ看護過程が一通り展開できる				部署の様々な役割が、目標達成と関連し次年度の目標が考えられる 看護過程への理解を深め、看護実践能力を高める		
指導計画	<b>3週目</b> PNSペアとシャドーイング ナーシングメゾットを活用し基礎看護技術を指導者とともに見学	<b>1週目</b> PNSペアとして患者を2人～3人受け持つ 退院患者を担当する <hr/> <b>2週目</b> PNSペアとして患者を2人～4人受け持つ	PNSペアとして患者を複数受け持つ 夜勤・遅出業務を見学からはじめ、助言をうけながら実践する			自分の担当患者の看護記録の入力を指導者ととも実施 基本的技術の習得状況にあわせ担当患者の数、患者の重症度をあげていく 夜勤遅出の独り立ちは9月を目安とする 個人の状況に合わせて夜勤遅出の回数を増やす 未習得の技術は一人で行わない。技術については1年目以降も確認をしながら行う						
	<b>4週目</b> PNSペアの患者を1～2人受け持つ	<b>3週目</b> 休日業務を経験する パス入院を担当する										
	<b>5週目</b> PNSペアの患者を2人～3人を受け持つ	<b>4週目・5週目</b> 夜勤・遅出オリエンテーション PNSペアとして患者を複数受け持つ 入院患者を担当する 検査・手術・重症患者を担当する										
静脈注射	集合研修 ・概要 ・採血、皮下・筋肉注射研修 ・輸液ポンプ、シリンジポンプ ・点滴の準備、溶解、実施等 ※研修が終了すれば見守りのもと実施できる項目 採血、血糖測定、血培採取 皮下・筋肉注射	1.各部署の特殊性に応じた静脈注射研修 (研修レポート提出) 2.輸液ポンプ実技テスト 3.シリンジポンプ実技テスト 4.事例レポート提出 ※全て5月末日までに ※心電図テストは9月末まで合格すること	左記の課題すべて終了後、レベル I 認定証発行 実施できる項目 1.末梢静脈 ・翼状針による静脈注射 ・側管からの静 ・薬剤の更新 ・ロック中の留置針からの静脈注射 ・麻薬の投与 ・輸液ポンプ・シリンジポンプからの与薬 2.中心静脈 ・薬剤の更新 ・側管からの輸液、注射 ・輸液ポンプ・シリンジポンプからの与薬 ・麻薬の投与									
集 研 修	・PNS ・重症度、医療・看護必要度	・KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート		KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート	KOMI理論研修 ・ピアサポート
	・看護技術研修 導尿 吸引、膀胱留置カテーテル											
面接	看護部長面接	看護師長面接 看護師長、担当副看護師長、実地指導者とふりかえり(月1回)				個人目標面接 ラダー面接					個人目標面接 ラダー面接	

